

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



「ニミツパークから見た佐世保共済病院」撮影：水田 孝 氏

INDEX

- ごあいさつ 院長 木寺 義郎…………… ①
- 診療部長就任のご挨拶
- 新採用医師の紹介…………… ②
- リハビリテーション医長就任のご挨拶
- 診療活動の現況…………… ③
- 腎・尿管結石症の新しい治療戦略 f-TUL について —
- 第12回市民公開講座の開催報告…………… ⑤
- 「あじさいネット」運用開始のお知らせ
- 地域医療連携室より…………… ⑥
- トピックス「ヨガ部のご案内」
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



これからの社会保障制度の方向性を定めた「社会保障・税の一体改革」大綱が、8月に法案化されました。このなかで半世紀前には65歳以上のお年寄り1人を9人の現役世代で支える「胴上げ型」の社会であった日本は、まもなく到来する3人で1人を支える「騎馬戦型」の社会を経て、2050年には高齢者1人を1.2人の現役世代で支える「肩車型」の社会になること、従って社会保障の安定財源の確保と財政の健全化の達成のために消費税率の引き上げを含めた改革が必要なことが明記されています。

医療や介護についても基本的な方針が掲げられ、1960年代に整備された国民皆保険制度の成果の強調とともに制度の堅持が謳われています。そのために例えば現在1割負担に凍結されている70歳以上の患者さんの医療費など高齢者の医療費支援については、増大する一方の医療費の抑制と社会保障の世代間の公平を図るという観点から見直す方向性が示されています。

このような言わば国民的な危機の到来という状況のなかで、個人でできることといえば健康寿命、すなわち介護を受けたり寝たきりになったりせずに自立して健康に生活できる寿命、を伸ばすことに尽きます。2010年の日本人の健康寿命は男性70.42歳、女性73.62歳であり、いずれも平均寿命との差が10年余りあります。

去る8月11日に多くの市民の御参加を頂いた当院の市民公開講座も今年で12回目となりましたが、健康への関心を高めていただくことで健康寿命を延ばすことに役立っているのではないかと期待しているところであり、これからも継続していく予定です。

診療部長就任のご挨拶

小児科 岡 尚記



- 出身地：佐世保市
- 出身大学：長崎大学 昭和54年卒
- 主な職歴：昭和62年 みさかえの園むつみの家
昭和63年 国立長崎中央病院（現国立病院機構長崎医療センター）
平成4年 佐世保共済病院
- 専門領域：小児アレルギー疾患
- 所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会

このたび診療部長を拝命しました。私は当院に赴任して早いもので20年が経過しました。3～4名の小児科医で地域医療に励んでいましたが、この3年間は、長崎県の病院小児科集約化の影響で私一人で小児科を維持せざるを得ない状況となり、この間非常にご迷惑をお掛けいたしました。この度、合田先生が勇気を奮って当院に赴任してくれましたので、二人で頑張ることとなりました。

これにより周産期医療における在胎32週以降の新生児診療や、その他の小児の入院診療も可能となりました。合田先生が食物アレルギーに関して研鑽を積み、食物経口負荷試験等も可能となりましたので、そのような患児の紹介もよろしくお願ひします。二人で出来る範囲ではありますが、これまでご迷惑をお掛けした分を少しでも取り返せるように努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひします。

新採用医師の紹介



健診センター一部長就任のご挨拶 佐藤 浩信

- 出身地：佐世保市
- 出身大学：九州大学 昭和60年卒
- 主な職歴：平成2年 宗像医師会病院
平成7年 佐世保共済病院
平成18年 佐世保中央病院
- 専門領域：消化管疾患、リウマチ性疾患、一般内科
- 所属学会：日本内科学会、日本消化器内視鏡学会、日本リウマチ学会

6年ぶりに当院へ健診センター部長として戻ってまいりました。これまでは治療主体の医療を行ってきましたが、救急搬送されたり、合併症が出てはじめて病院を受診されたりする患者さんを診るたびに予防医学の大切さを考えさせられていました。定期的にチェックを行い、その結果とこれまでの様々なデータから将来を予測することで防げることもあるはずで。癌をはじめ、各種病気の早期発見など、診断の質の向上に努め、また健康の維持・増進に向け生活習慣で改善できることはないかと皆様と共に考えていきたいと思っております。



小児科医長就任のご挨拶 合田 裕治

- 出身地：長崎市
- 出身大学：琉球大学 平成9年卒
- 主な職歴：平成9年 長崎大学医学部附属病院小児科
平成17年 佐世保共済病院小児科
平成20年 佐世保市立総合病院小児科
- 専門領域：小児科一般、小児アレルギー疾患（小児喘息、食物アレルギー）
- 所属学会：日本小児科学会（専門医）、日本アレルギー学会（専門医）
日本小児アレルギー学会、日本小児呼吸器疾患学会
日本小児難治気管支喘息・アレルギー疾患学会

縁あって約4年ぶりにお世話になることになりました。小児科も2人体制となり少しでも盛り立てていくことができればと思っています。また当院小児科はアレルギー学会専門医が2名となるため、これまで以上に小児アレルギー疾患にも力を入れていきます。特に食物アレルギーについては食物経口負荷試験を実施し、より正確な診断を目指し、患者さんのQOLの改善にお役にたてればと考えています。よろしく願いいたします。

リハビリテーション医長就任のご挨拶

水城 安尋



- 出身地：福岡県 ●出身大学：佐賀医科大学 平成13年卒
- 主な職歴：平成13年 九州大学整形外科教室入局
平成18年 九州労災病院
平成19年 登別厚生年金病院
- 専門領域：肩関節疾患（腱板断裂、拘縮肩、外傷、反復性肩関節脱臼など）、足部疾患、スポーツ整形外科
- 所属学会：日本整形外科学会、西日本整形・災害外科学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、日本肩関節学会、北海道整形災害外科学会、日本最小侵襲整形外科学会

10年前に当院に勤務したことがありますが、縁あって平成18年より再び佐世保に赴任してまいりました。振り返ると12年の医師生活のうち、実に6年近く佐世保での診療を行っています。佐世保の街の変化も様々なものがあり、感慨深いものがありました。仕事の面では肩関節疾患を中心に多くの先生方よりご紹介頂けることに誠に感謝しております。常に刻苦勉励して診療に当たりたいと存じます。

この度リハビリテーション医長を拝命することとなり、行き届かないところも多々ありますが、今後も地域の医療にできる限り貢献していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【はじめに】



泌尿器科部長 江口 二郎

佐世保共済病院泌尿器科では、平成2年に体外衝撃波碎石術（ESWL）を長崎県北地区では初めて導入しました。また、経尿道的尿管碎石術（TUL）や経皮的腎

碎石術（PNL）の内視鏡手術（図1）も行い、

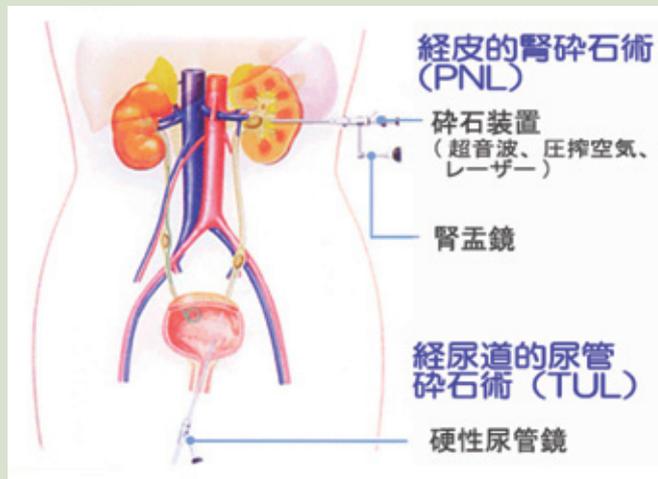


図1 腎・尿管結石に対する内視鏡手術

多くの腎・尿管結石症患者さんの治療をしてきました。いずれも優れた手術治療法で、お腹を切って結石を取り出す手術（切石術）に取って代わるものでした。しかしながら TUL では治療中に尿管の結石が腎臓内に上昇してしまっ

て取り残さざるを得ないこともありました。

【f-TUL とは】

f-TUL は胃カメラのように軟らかい（flexible）軟性腎盂尿管鏡とホルミウムヤグレーザーとの組み合わせによる新しい腎・尿管結石治療法です。当科では平成20年5月よりホルミウムヤグレーザー発生装置を借用して治療を開始し、平成21年9月には装置を購入して本格導入しました。従来金属製の硬性（rigid）尿管鏡で行っていた TUL は内視鏡を尿道から膀胱、尿管へ挿入して、結石を直接カメラで確認しながら少しずつ破碎または摘出する手術法です。硬性尿管鏡では、その性質上観察範囲は限られ、患者さんによっては尿管の途中までのこともあり腎臓内まで十分に達することができません。これに対して f-TUL に用いる軟性腎盂尿管鏡では尿管はもちろん腎臓内もほとんどすべての部位を観察でき、結石をホルミウムヤグレーザーで破碎（図2）します。さらにはアクセスシー

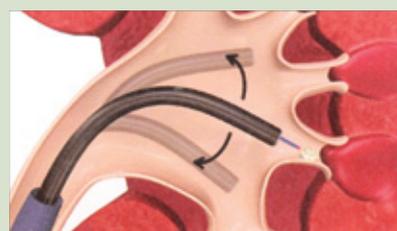


図2 f-TULによる腎碎石術

スとバスケットカテーテルの使用により安全に効率よく破砕片を摘出できるようになりました。

f-TUL では腎臓・尿管内のほとんどすべての部位の結石をより安全に、より高い確率で、より短い期間に治療することが可能になりました。当科での腎・尿管結石症治療実績の変遷をみると、f-TUL の導入により ESWL（特に2回目以降）は激減して、多くの腎・尿管結石症患者さんの第1選択治療が TUL となってきました（図3）。

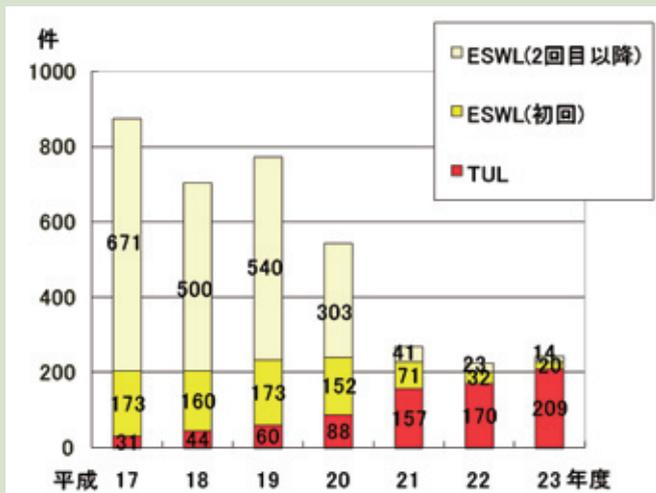


図3 佐世保共済病院における TUL・ESWL 件数

【より良い治療成績を目指して】

優れた治療法である f-TUL ですが、PNL で使用するシース（管）の直径が主に 24Fr（8mm）に対して f-TUL に使用するアクセスシースは尿管の太さの関係から主に 12Fr（4mm）と細いために、PNL よりは摘出破砕片の大きさの差（図4）から明らかに治療



図4 PNL（左）と TUL（右）摘出破砕片

効率が劣ります。大きなサンゴ状腎結石では、PNL を選択することが多く、アプローチ困難な部位に対しては f-TUL 補助下に行う PNL である TAP（TUL-assisted PNL）（図5）も行っています。

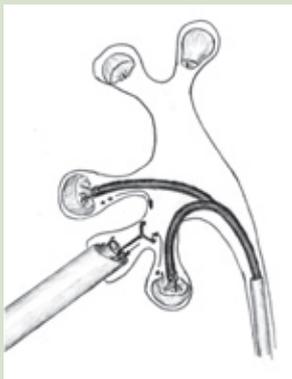
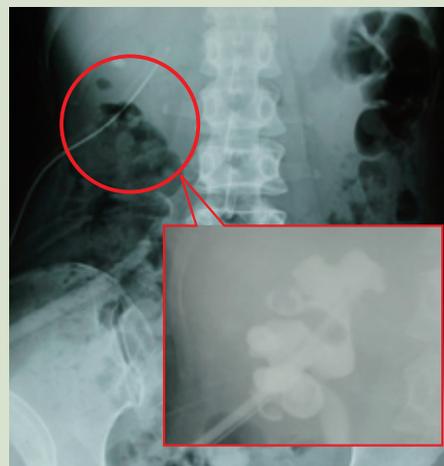


図5 f-TUL 補助下 PNL

症例（図6）を提示しますとサンゴ状結石（図6上）に PNL を行い、アプローチ困難な部位に結石の一部を取り残しています（図6中）。TAP（図5）を行うことにより結石のすべてが取り除かれました（図6下）。治療法の組み合わせによっても、より良い結果が出るように努めています。



図6 右腎サンゴ状結石



PNL 後
（中腎杯に残石）



TAP 追加後
（残石なし）

第12回市民公開講座の開催報告

健診センター部長 佐藤 浩信

第12回目となる市民公開講座が8月11日（土）に8階大講堂で開催されました。メインテーマは「身近な症状から病気を探る」、自分の健康管理に役立てようと多くの市民の皆様にご来場いただき、大盛況となりました。

最初に九州大学病院総合診療科 林 純教授より「総合診療医からの健康アドバイス」と題し、生活習慣病の予防法について、趣味のゴルフや今まさにオリンピック開催中の英国の王朝の歴史などを交え、非常に判りやすく御講演いただきました。

次に佐賀大学医学部皮膚科 成澤 寛教授より「自分の眼で見える皮膚病から病気を探る」と題し、癌や肝臓病、糖尿病などの時に皮膚に出てくるサイン、早期発見が大事な腫瘍（コブ）、薬疹などにつき御講演いただきました。また、画像を見ながら見間違わないポイントなどについてもお話いただきました。

最後に当院の小島 敏行薬局長が「くすりはリスク」と題し、お薬の正しい服用法、飲み忘れ時の対応、お薬手帳携帯の大切さ、また副作用や薬剤救済制度などについて話しました。

いずれも身近な話題で早速実践できる内容であり、皆様のお役に立てたのではと思います。



講演の様子 左が林教授、右が成澤教授

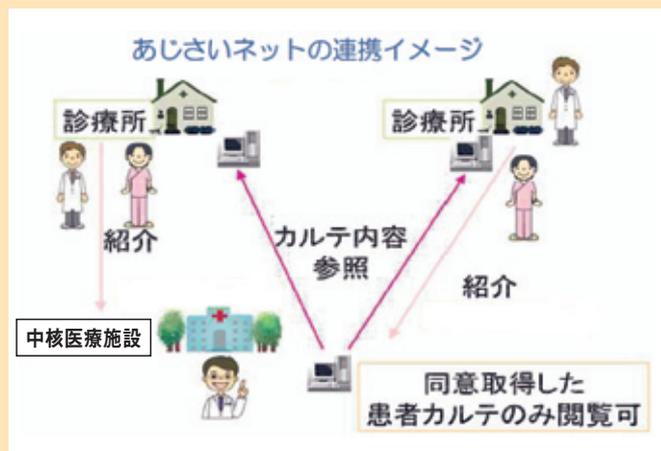
「あじさいネット」運用開始のお知らせ

情報システム課長 松本 洋行

当院は10月から「あじさいネット」の運用を開始いたします。

「あじさいネット」は、長崎県の県央地区から全国に先駆けて発信され、最も成功している例として評価されている地域医療連携システムで、地域の診療所と中核病院との間の情報のやり取りを円滑にするためのネットワークシステムです。

実際に「あじさいネット」で何ができるのかの例を挙げてみますと、たとえば当院に受診歴のある患者さんが他の診療所を受診した場合、診療所の医師は患者さんの同意の下に「あじさいネット」を



通じて当院での検査結果や診療の記録などの情報を参照することにより適切な対応が可能となり、新たな検査を最小限にすることができます。また逆に診療所からの紹介により患者さんが当院に入院した場合、紹介元の医師は当院での診療や検査、手術の内容について「あじさいネット」を通じて知ることも可能です。

当院は情報を提供する中核病院として、その役割を果たしていくこととなります。このシステムにより当院の基本方針、地域医療への貢献が充実していくことと期待しています。

地域医療 連携室より

Part.
17



医療法人 十全会 潜竜徳田循環器科内科整形外科病院

〒859-6134 長崎県佐世保市江迎町田ノ元467
TEL 0956-66-9221

循環器科 徳田 圭亮 先生
整形外科 徳田 晶彦 先生

当院は1910年に曾祖父が医院を開設したのが始まりで、1932年に祖父が現在地に医院を移転、1952年に徳田病院、1965年には江迎病院となり、私（循環器内科）と兄（整形外科）が帰郷の後、2004年より現在の名称となっております。当院は多くの先生方にご尽力、支援いただき現在に至っております。



前列右が圭亮先生、左が晶彦先生

この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

当院は現在60床の小さな病院（一般病棟20床、医療療養病棟40床）です。2年前の院内改修にて、病棟であった4階を全面リハビリ室としました。上階のリハビリ室であり、患者さんの負担も案じましたが、眺望を楽しみながらリハビリができるということが逆にリラクゼーションに繋がり、よい面もあるように思われます。また、二次救急病院としましても、地域医療に貢献できますようこれからも専心研鑽してまいりたいと存じます。

佐世保共済病院には診断から治療にいたるまで、様々な科の先生方に大変お世話になっております。また、先生方やスタッフの方々にはいつも迅速に、かつ快く対応していただき、心より感謝申し上げます。

2010年に江迎町が佐世保市に合併し、また西九州道の佐々インターもできて、交通の便も随分よくなりました。今後も共済病院をはじめ、地域の皆様と協力連携を図りながら、よりよい地域医療を目指し努力してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

トピックス「ヨガ部のご案内」

麻酔科 吉村 真紀

今年5月からヨガ部の活動を始めました。指導して下さるのは富家泰子（とみいえやすこ）先生です。富家先生は、かつてご自身が当院小児科に入院した経験もあり、当院スタッフのヘルスケアに関わることをとても喜んでおられます。自らが元気でなければ十分な医療の提供もできないことを痛感し、運動部への参加が無理でも、ヨガなら看護師も参加しやすいのではないかと思い創部しました。ヨガの後はすごくすっきりしますし癒されます。自分の内面に向かう良い時間を過ごせます。毎週火曜日の19時から20時30分まで8階大講堂で行っており、貸出ヨガマットもあります。問い合わせは麻酔科 吉村まで。



前列中央が吉村先生、左が富家先生

編集後記

過ごしやすい時節となってきました。猛暑となった今夏の節電は大きな混乱もなく皆様の協力で乗り切ることができました。今後も充実した誌面作りに励みます。

編集委員 原 敬一



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 24 年 9 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後									
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医員	金谷 晶子											腎臓疾患
	〃	光武 涼子			●		●						腎臓疾患
	〃	松本圭一郎	●						●		●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	大野 聡子									●		循環器疾患
〃	西田 憲史	●		●								循環器疾患	
神経・漢方内科	医長	樋口 泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
呼吸器内科	非常勤医	溝口 祐輔									●		呼吸器疾患
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	尼子 真生	●				●		●				血管外科・一般外科
	医員	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	田尻 健亮	●								●		一般外科
	〃	金本 亮			●				●				一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二									●		呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までにて受付を行って下さい(要予約)
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来											●	水曜 午後2時から診察開始
喘息外来											●	木曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい
	頭痛外来(完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜：午後2時30分～午後4時30分 火曜：午前11時～午後0時30分、午後2時30分～午後3時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●				●		●		●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●						●		●		手の外科、マイクロサージェリー
	〃	水城 安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	医員	志田 義輝	●				●		●				膝関節疾患、人工関節置換術
	〃	近間 知尚	●		●						●		整形外科一般
〃	塩本 喬平			●		●		●				整形外科一般	
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	森 慎子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術(火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二郎	※		●				●		●		男性不妊(江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※：第2・4週(江口部長) 第1・3・5週(中村医長) が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	医員	佐藤 由佳	●■		●				●		■		
	〃	二尾 愛	●		●		■				●		
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、 眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	医員	藤田 秀昭	●		●	※	●	※	●		●	※	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	綾田寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	安井 徹郎	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・顔部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭											MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医員	江畑 智広											※検査・画像診断についてのお申し込み・ お問合せは、外来までお電話下さい。
	〃	村木宏一郎											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前ペイン・緩和ケア外来
	医員	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	〃	矢野倫太郎			●				●				
	非常勤医	吉村 真紀											
	〃	別府 幸岐											
〃	志田知佳美												
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科 口腔外科	医長	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)
	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・ マウスピースなど
健診センター	部長	佐藤 浩信											
	医長	原 敬一											
	医員	赤司富紗雄											

※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。